幸若かわら版

幸若舞の里づくり会
事務局　橋本守行
電話090-7746-8689

第１９号
令和　元年　７月　１日

開催

さる五月十二日午前十時から本会の第四回総会が町生涯学習センターにおいて会員約二十五名が出席して開催されました。

開会前の三十分で、先般完成した幸若舞のＰＲ・ＤＶＤが披露されました。

辻会長の開会あいさつの後、アトラクションとして現代流幸若舞「安宅関」などの公演があり、総会にうつりました。

総会では、後藤貞子さんを議長として、議事が進行しました。議事資料等は二面記載のとおりですが、いずれも原案のとおり承認されました。なお、本年度の新たな事業として、来年一月に福岡県みやま市を訪問、大江幸若舞保存会との交流事業を計画していることの説明がありました。

幸若舞PR・DVD

総会状況

大隆寺木田住職講演

榎本敬次郎氏はなぜ大隆寺に帰依したか

木田慧明師

総会終了後、岩開・大隆寺第二十六世住職木田慧明師（六十四歳）に講演をお願いしました。師の講演は悪邪を払うという比叡山声明（幸若舞のルーツという説もある）の朗誦から始まりました。講演の要旨は次の通り。

榎本氏が大隆寺に帰依したのは、当時の住職との親交の結果だとされているが、法華宗大本山の京都・本能寺を再建した（一四三四年）日隆聖人の実家は桃井家（越中国武将、幸若先祖とされる）でその縁もあったのではないか。

幸若一族は伏見にあった徳川家康を襲おうとした石田三成と戦ったとされており、たんなる幸若舞芸能者だけでなく武士としての矜持もあった。

幸若舞は、修羅の連続であった時代にこれをやわらげる役目もあったのではないか。

最後に五木ひろしの「九頭竜川」の替え歌「天王川」をカラオケで歌われました。

平成30年度事業及び決算報告

実施月日	事　業　名	摘　　要
4月12日	顧問会議	朝日コミセン会議室
4月15日	佐々生墓地清掃	１6名参加
5月13日	第３回総会	生涯学習センター、３８名
5月27日	健康ウォーク	西田中区と共催、９７名
9月22日	幸若舞祭礼参加	劒神社観月の夕べ
9月23日	幸若舞祭礼参加	白山神社秋季例大祭
10月　4日	福井国体ＰＲ	ホッケー会場
10月13日	幸若出前授業	朝日小６年児童
10月28日	研修旅行	勝山方面、朝倉遺跡など
11月　4日	総合文化祭参加	コーナー開設
11月11日	天宝ふれあい集い	山口顧問、陣屋の里
12月　2日	忘年会	高橋千鶴子さんトーク24名
1月25日	歴女の会新年会	新月亭、１６名
	幸若歴史講座	毎月第４金曜日町図書館
	語り部の会	勉強会６回
	幸若かわら版発行	隔月奇数月発行、６回

一般会計収入	単位:円	
前期繰越金	177,223	
年会費	122,000	61@2000
入会金	3,000	3@1000
町補助金	35,000	
区補助金	20,000	
寄付金	2,000	
行事等参加費	0	
雑入	1,002	
合計	360,225	

一般会計支出	単位:円	
事務局費	32,155	事務用品ほか
会議費	47,410	総会等
事業費	175,840	
幸若歴史講座	38,517	講師謝礼等
専門部会	35,880	ブルゾン５着など
語り部の会	24,106	講師謝礼など
幸若すごいぞ展	9,571	パネルなど
幸若子供教室	20,000	子ども幸若舞育成
観月の夕べ	10,000	子ども幸若舞出演
研修会	37,766	勝山研修旅行
団体加入年会費	5,000	町文協
次期繰越金	99,820	
合計	360,225	

特別会計収入	単位:円	
繰越金	10,000	一般会計より
町補助金	100,000	
合計	110,000	

特別会計支出	単位:円	
佐々生墓地清掃	11,458	16名参加
幸若かわら版	37,511	
幸若舞衣装補填	60,000	
次期繰越金	1,031	
合計	110,000	

令和元年度事業及び収支予算

実施月日	事　業　名	摘　　要
4月14日	佐々生墓地清掃	
5月12日	第４回総会	生涯学習センター
5月25日	健康ウォーク	西田中区と共催
7月27日	あさひまつり	幸若舞コーナー広報活動
9月23日	祭礼参加	白山神社、劒神社
9月　日	幸若舞祭礼参加	劒神社観月の夕べ
10月27日	小浜方面研修旅行	
11月　日	総合文化祭参加	幸若舞資料展示、ＤＶＤ
11月　日	幸若出前授業	朝日小学校
12月　日	講演会＆忘年会	
1月　日	歴女の会新年会	
1月　日	みやま市との交流会	
	幸若歴史講座	毎月第４金曜日、町図書館
	語り部の会	隔月奇数月開催
	幸若かわら版発行	隔月奇数月発行、６回

一般会計収入	単位:円	
前期繰越金	99,820	
年会費	128,000	64@2,000
入会金	1,000	
町補助金	35,000	
区補助金	20,000	
寄付金	1,000	
行事等参加費	10,000	新年会、旅行
雑入	1,000	利息など
合計	295,820	

一般会計支出	単位:円	
事務局費	35,000	事務用品ほか
会議費	50,000	総会等
事業費	172,000	
幸若歴史講座	37,000	講師謝礼等
専門部会	30,000	講師謝礼等
語り部の会	25,000	史料作成ほか
幸若すごいぞ展	10,000	文化祭出展
幸若子供教室	20,000	朝日小学校
観月の夕べ	10,000	現代版幸若舞
研修会	40,000	小浜方面研修
団体加入金	5,000	町文協
予備費	33,820	
合計	295,820	

特別会計収入	単位:円	
繰越金	1,031	
町補助金	400,000	令和元年度分
合計	401,031	

特別会計支出	単位:円	
佐々生墓地清掃	30,000	4月14日
幸若かわら版	70,000	5月1日より
みやま市交流費	300,000	1月20日予定
予備費	1,031	
合計	401,031	

＊特別会計は越前町へのふるさと納税を原資とするもので、使途が限定されていま す。
上記資料は紙面の都合上一部省略しています。

山口顧問による幸若講座（歴女の会）は毎月第4かまたは最終金曜日開催です

健康ウォーク実施　幸若史跡案内

5月26日

本年も五月二十六日、西田中区のイベント・健康ウォークに協賛して、区民・児童に対して幸若史跡案内を実施しました。

当日は約八〇名の参加でしたが、気温三〇度を超える真夏日が予想されるということで、当初予定していた幸若文化情報センターなどを中止し、打波邸・龍生寺・白山神社・朝日観音について説明しました。

説明は当会の青山部会長をはじめ語り部会員が行いました。朝日観音の後は、古墳公園に向かいゲームや昼食に楽しい時間を過ごしました。

あさひまつりに

幸若舞PR・レストコーナー開設

きたる７月２７日開催されるあさひまつりに際し、西田中駅前通りに幸若舞ＰＲ・レストコーナーを開設します。ご協力・お立ち寄りをお願いします。

織田文化歴史館
公式ホームページ開設

幸若舞を紹介解説

さる４月、織田文化歴史館の公式ホームページが開設されました。

劔神社、泰澄、越前焼、八坂神社、朝日観音、大谷寺などとともに、幸若舞が紹介されています。

http://www.town.echizen.fukui.jp/otabunreki/index.html

当面の主な予定

7月26日　第80回幸若講座
7月27日　あさひまつり
10月27日　小浜研修旅行

令和元年度役員一覧

名誉顧問	打波六兵衛	顧　問	山口　信嗣	顧　問	孝久　幸一
顧　問	青柳　良彦	顧　問	中嶋　宗聖		
会　長	辻　洋次郎	副会長	澤崎　博	副会長	児玉　忠
事務局長	橋本　守行	事務次長	三谷　憲夫	庶　務	三谷　憲夫
理　事	岡本トシ子	理　事	松田美喜子	理　事	藤川チエ子
理　事	橋谷　和憲	理　事	高橋　満	理　事	安井　賢二
理　事	月田　文夫	理　事	青山　栄		
部会長	月田　文夫	部会長	藤川チエ子	部会長	松田美喜子
部会長	橋谷　和憲	部会長	青山　栄	副部会長	高橋　満
監　事	伊藤　藤恵	監　事	金巻美智子		
参　与	赤井　聡	参　与	北川　英和	参　与	橋谷　清美

FBCかがやき基金　応援金に応募

福井放送が平成２４年創立60周年記念事業として設立したＦＢＣかがやき基金は、毎年総額１０００万円の応援金を地域活動団体などに交付しています。本年度のテーマが「伝」ということで、町教育委員会の協力も得て、本会でも応募いたしました。

ちなみに、昨年度は旧織田地区・姉崎敏明さんが会長をつとめる福井県しいたけ生産連絡協議会・香福茸生産部会が準大賞２００万円を受賞しています。

審査結果の発表は本年１２月です。

福井新聞令和元年5月13日付

第78，79回 幸若講座開催

第７８、７９回幸若講座がそれぞれ５月２４日、６月２８日、幸若文化情報センター２階会議室で約１０名が参加して開催されました。

いずれも「幸若舞を知る１００項」をテキストに、第２９～３６項について山口顧問から講義を受けました、

西田中は昔印内村と呼ばれていたが、いつからその呼称が変わったのか、西田中村が「守護不入」いわゆる治外法権の村になった理由などについて説明がありました。

また、幸若先祖・直詮には弟・直久がおり自分がその２０代の子孫であるとの書信があったことも紹介されました。

丹巖洞庭園

語り部の会研修実施

去る六月二十三日午前、福井市語り部の会員で本会の会員でもある大村優幸さんの案内で会員９名が福井市内の柴田神社や左内公園、丹巖洞などをめぐり、語り部としての説明の仕方や話術を学びました。左内公園では妙経寺住職から橋本左内墓所の説明を受けました。橋本家が先祖の曹洞宗から法華宗に改宗した理由はよくわからないとのことでした。丹巖洞では幕末の志士たちの密議をしのび、昼食は近くの笏谷そばでおいしいそばをいただきました。

橋本左内墓所

小浜旭座

小浜研修旅行予告　！

この秋１０月２７日（日）、本会では小浜方面への研修旅行を実施します。詳細は次号第２０号（９月１日号）にてお知らせしますが、多数のご参加をお願いいたします。